SAFE CITY 京橋

京橋消防署は消防団、町会、自治会、事業所等、地域の皆様のご協力の下、令和４年４月２４日、火災による死者ゼロ１，５００日を達成しました。

今後も地域の皆様と連携し、火災による死者ゼロを継続していけるよう、安全・安心のまちづくりに取り組んでいきます。

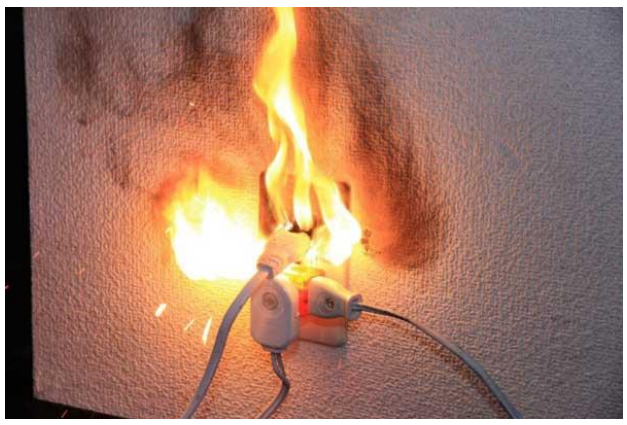
SAFE CITY 京橋

火災による死者ゼロ継続に向けて消防署からのお知らせ

«トラッキング火災の防止»

１　トラッキング現象とは

コンセントとプラグの隙間にホコリが溜まり、そのホコリが空気中の湿気を吸収することで、漏電し発火する現象です。



トラッキング火災（再現実験）

２　注意するポイント

火災を防ぐため、プラグは、使用時以外はコンセントから抜きましょう。差したままのプラグ等は、定期的な点検と乾いた布等で清掃し、異常がある場合は、使用するのをやめましょう。

「コードが家具などの下敷きや押しつけなどで傷ついていないか」、「コードを束ねたり、ねじれたまま使用していないか」確認すると電気火災の予防に繋がります。

«住宅用火災警報器の適切な維持管理»

平成２２年４月から全ての住宅に住宅用火災警報器（以下「住警器」という。）の設置が義務化され、１０年以上が経過しました。

古くなった住警器は電子部品の寿命などにより火災の時に作動しなくなることがあるため、１０年を目安に本体を交換しましょう。

点検方法

～住警器の設置と維持管理のポイント～

・全ての居室、台所及び階段に必ず設置しましょう。

・定期的に作動状態の確認や機器本体の清掃をしましょう。

・設置から 10 年を経過したものは本体の交換をしましょう。

・連動型の住警器や屋外警報装置付きの住警器を設置すると、より安心です。